

小児



コーナー



<子どもの花粉症>

北病院 病棟看護師長
北原 政子

そろそろ、いや～な花粉症の時期ですね。子どもの花粉症も年々増加傾向です。今回は「子どもの花粉症」についてのお話です。

子どもの場合、くしゃみは、あまり出ず、鼻づまりが多い傾向にあります。

子どもの鼻づまりは、わかりにくい場合もある為、口を開けている事が多くないか、注意してみてください。また、鼻水も大人の場合は、サラサラとした水のようなものが出ますが、子どもは、粘っこい鼻水も出る為風邪かなと、思う場合もあります。目の症状も多く、目のあたりをこすったりしている、鼻をよくいじる(そのため、鼻血が出ることもあります)等も、注意してみてください。

アトピー性皮膚炎がある場合は、悪化するという形で症状がでる事がありますので、注意してください。

この時期、軽い風邪の症状が続いているな・・・と思われるなら、一度受診にてご相談されてはどうでしょうか。

予防としては、大人の方と同様で「花粉を室内へ持ち込まない、部屋の掃除をこまめに行なう、外出時は帽子・マスク着用し、できればツルツルした素材の衣服とする」等です。外で遊ぶ場合など外出は、午前中や風の少ない日にした方が、飛んでいる花粉が少ないので良いと思います。